

決算以外の議案

平成21年度 専決処分の承認

一般会計補正予算

(第3号) 1,779万5,000円増額

主な事業 健診(検診)事業 1,779万円

(第4号) 805万8,000円増額

主な事業 土木営繕事業 578万円
公園維持管理事業 226万円

平成20年度決算確定による額の調整と、国の平成21年度第一次補正予算を受けて事業を実施するための補正が主なもの。このうち、女性特有のがん検診推進事業は「周知徹底を図るため」、また、県の緊急雇用創出基金の追加補助を受けての、市道側溝掃除、福岡中央公園整備については「早く実施することで効果が上がる」と判断し、9月定例会前に実施した事業として審議されました。

平成21年度 全員賛成で可決

一般会計補正予算

(第5号) 12億5,474万9,000円増額

主な事業	
子育て応援特別手当支給事業	1億1,469万円
商工振興事業	3,308万円
道路橋りょう新設改良事業	1億2,901万円
学校教育管理事業	7,542万円

地域活性化・経済危機対策臨時交付金の効果は

平成21年度に限っての幼児教育期の子育て応援特別手当、上福岡図書館の屋上防水対策などのほか、コミュニティセンターの修繕、放課後児童クラブの増改修設計委託、新型インフルエンザ対策の資器材購入、学校教育備品購入など、さまざまな事業に予算がつかしました。

主な意見

- 地域活性化の目的に合うように、地域事業者への発注を心がけること。プレミアム商品券など、市民にかかわる事業の周知徹底を図ること。
- 土木・教育・商工などバランスがとれた事業政策であり、家計にも配慮された予算である。厳しい雇用状況を少しでも改善できることを期待する。
- 国の制度や施策の変更で翻弄された地方財政だが、今回を機に市の総合振興計画に基づいたアクションプランを担当課で作成することを要望する。



権現山に咲く彼岸花

特別会計決算

主な意見

国民健康保険 賛成多数
ふじみ野市における国民健康保険短期被保険証の未交付状況は、平成十九年度の一〇八件から九七八件へと微減したものの重要課題となっております。また、特定健診の受診率は県内第三位の実績ではありますが、四二%と決して高くはありません。いずれの課題にも市民との協調が必要であり、職員の出張が大きい部署との指摘もありました。

介護保険 賛成多数
介護保険特別会計の基金残高は平成二十年度末で約三億一、〇〇〇万円、基本的には国の制度の行政窓口ではありませんが、市独自の政策を展開して、こうした基金の有効活用が求められるとの指摘がありました。また、本当に必要な方たちに、介護サービスが行き届いていないとの意見もありました。

水道事業 賛成多数
折からの経済不況を反映し、水道料金の滞納金額は四一九一万円、給水停止は二七五件となっております。しかしながら、コンビニ収納開始による効果や企業運営努力により、過去の実績に比べて若干の改善が見られます。今後も企業運営においては、計画性を保ちながらも、市の公営企業という側面から生活困窮世帯への配慮も大切にしたい運営を要望したい。

老人保健、下水道事業は全会一致、後期高齢者医療事業は賛成多数で認定しました。

【平成20年度決算の主な事業】

・住民情報系電算システム移行事業	9,628万円
・障害福祉サービス費支給事業	4億3,038万円
・乳幼児医療費支給事業	2億724万円
・保育所運営事業	4億6,654万円
・認可保育園事業	5億2,336万円
・火葬場・斎場事業	2億1,561万円
・廃棄物共同処理事業・大井清掃センター運営(焼却施設)事業	7億6,300万円
・収集運搬処分事業	7億8,202万円
・国道254号線歩道拡幅事業	1億2,032万円
・福岡中央公園拡張整備事業	1億699万円
・小学校施設管理事業	3億1,940万円
・中学校施設管理事業	1億5,437万円
・東台小学校建設事業	13億4,762万円



東台小の風力発電設備

問 閉庁時、災害などの緊急電話などへの迅速な対応は。
答 緊急時に一本の電話を受けると、ほかが対応できない状況は、問題があります。危機管理面から管財課と協議して、早急に検討していきます。

問 平成二十年度に上福岡駅東西口のエレベーターと駅ホームのエレベーター及び多目的トイレの設置が予定されていたが、西口以外の工事は平成二十一年度に繰り越され

問 市税の収納状況と、時効消滅する滞納繰り越し分への対応は。
答 九七・二二%の収納率となっており、平成十九年度と比較して〇・〇四%の減です。滞納繰り越し分を五年で時効にさせないために、財産調査、預金調査、納税者との折衝など行なっています。

問 東台小以外に太陽光発電や風力発電設備に対する国の補助金の活用は可能か。
答 既存の学校についても補助の対象となり、補助の枠内において、国と県の併用は可能です。

問 平成二十年度決算で合併特例債が使われた事業は。また、今後どのように使うのか。
答 公共施設駐車場整備、東台小放課後児童クラブ建設、東台小学校建設、小中学校の耐震、権現山古墳群保存整備について使われました。今後は、広域ごみの処理施設建設に適用を検討していきます。



拡張された福岡中央公園

問 現況は。
答 ホームのエレベーターは間もなく完成します。多目的トイレは、店舗が移転次第、工事に取らかりかかります。東口は設計変更がありました。年度末には完了する予定です。

問 西鶴ヶ岡地区で大幅な児童の増加が見込まれる。三角

問 小学校の大規模改修を前倒しで行なう考えは。
答 まず、耐震工事など学校施設の安全性確保を最優先で行ない、順次外壁の修繕を含めて大規模改修を行なっていく予定です。

問 旧市町の残っている基金について、状況と統合の時期は。
答 それぞれの旧市町に、特定目的の基金が十三あり。基金の残は少なくなっており、平成二十二年度の当初予算で統合するため、基金条例を策定します。